

大阪マリオット都ホテル (大阪府・大阪市阿倍野区)

造形美と高機能を併せ持つ、 マリオットスペック「鋳物ホーロー浴槽」の美学

2014年3月7日。日本一の高層複合ビル「あべのハルカス」に誕生した、大阪マリオット都ホテル。大阪第三のターミナルでもある阿倍野エリアでは、特に絶対的な存在感を放つ近鉄グループの「都ホテルズ&リゾーツ」と、世界72の国と地域で3900軒以上を展開する「マリオット・インターナショナル」のWブランドのホテルとしてもその注目度は高い。さらにマリオット・スタンダードに即した38㎡以上、全360室のバスルームには“洗い場”と湯にゆっくりつかれるような深底型のバスタブをしつらえたのも特徴的。うち348室には、鋳物ホーロー浴槽を採用。このために開発した「マリオットスペック」というオリジナル製品だ。

鋳物ホーロー浴槽とは鋳物技術を応用した浴槽で、熱伝導率が高く、浴槽自体が温まるため体の芯から温まりやすい。そのため風呂上がり後の体温低下が少なく、急な湯冷めがないとされている。文字通り、高品質と言える「鋳物ホーローの浴槽は、ラグジュアリーホテルにはマストアイテム」と話すのは、(株)近鉄ホテルシステムズ専務取締役 中山 勉氏。この度の開業にあわせて、「オンリーワンのバスタブ」として鋳物ホーロー浴槽を採用した同氏は、傷がつきにくくなめらかな曲線美に惹かれたという。

湯張りした浴槽に幻想的な七宝のゆらぎ

なんとといっても「湯張りしたときの水の美しさにはこだわった」と、中山専務が何度も言うように

- ① オンリーワンの「七宝の色味」
- ② 優美な曲線の「フォルム」
- ③ 「透明釉薬」の使用
- ④ 肌触りの良い「質感」

これらを特徴とし完成した「マリオットスペック」



「デラックスルーム」(38㎡)はバスルームの引き戸を開けるとより開放感が広がる

は、まるで手焼きの工芸品のような曲線美と肌ざわり。また、「鋳物は、型から作り上げるので形状に関する細かなリクエスト対応が可能なことやホーローを二層、三層と掛けることで生まれるガラ模様によっては、世界に一つのこだわりのバスルームを作り上げることができる」といった大和重工の技術力によって、鋳物ホーロー浴槽「マリオットスペック」が誕生した。

極上のバスタイムを別宅のような心地よさで楽しめる、大阪マリオット都ホテルを、まずは浴槽から堪能してほしい。



(株)近鉄ホテルシステムズ
専務取締役
中山 勉氏



バスルームのライトは照度調整も可能。夜景を眺めながら湯の色味を楽しむのも「マリオットスペック」の浴槽ならではの